

簿記知識ゼロ でも分かる! 決算書の読み方



商売に数字はつきもの。決算書が読めれば、会社・事業の見方が変わり、自分自身のパフォーマンスも変わるでしょう。営業なら、顧客の業績を踏まえた的確な営業戦略を提案することが可能に。店舗責任者であれば、売上向上のための施策を練ることができます。簿記知識ゼロでも分かる決算書の見方のコツを、図解で分かりやすくお伝えします。

こんな方におススメします!

簿記知識・経理経験のない事業・店舗責任者、顧客提案の厚みを増したい営業職、人事担当者

研修内容

- 会社の数字の基礎知識
決算書の役割と必要性
決算書の基本構成
経理担当者“以外”が知っておくべきポイント
- 貸借対照表(B/S)
「貸借対照表」を図で理解しよう
【ケーススタディ】実在企業の「安全性」を分析
- 損益計算書(P/L)
「損益計算書」を図で理解しよう
【ケーススタディ】実在企業の「収益性」を分析
- キャッシュ・フロー計算書(C/F)
「キャッシュ・フロー計算書」を図で理解しよう
増減要因を「3つ」に分けると見えてくる会社の実態
【ケーススタディ】実在企業の「お金の流れ」を分析
- 財務3表の相互のつながり
「儲かっている」会社と「損している」会社の決算書

会場

新宿会場

東京都新宿区新宿1-4-10 アイテム本社ビル3階
東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」駅下車 徒歩2分
※詳しくは裏面の会場マップをご覧ください。

日時

12月3日(木)

13時～17時(4時間)

受講料

一般 16,500円(税込)
お取引企業さま 13,200円(税込)

講師 川口 宏之(かわぐちひろゆき)氏

公認会計士/国内大手監査法人、国内大手金融グループ系証券会社を経て、ITベンチャー企業の取締役兼CFOに就任。バックオフィス業務全般を担当。その後、独立系の会計コンサルティングファームにて、IFRS導入コンサルティング業務や決算支援業務、各種研修・セミナーの講師等を担当。「監査法人」「証券会社」「ベンチャー企業」「会計コンサル」という、4つの視点で「会計」に携った経験を持つ、数少ない公認会計士。これらの経験をもとに、「会計」という一見とつきにくいテーマを、図解で分かりやすく説明することに定評がある。著書に「いちばんやさしい会計の教本」(インプレス)などがある。



